

CSR報告書 2015

2014年4月－2015年3月期 活動報告



5月 新大阪駅構内に広告看板設置



10月 イーグローバレッジ株式会社子会社化



12月 株式会社須田商事子会社化



2月 中国・無錫工場設立10周年



3月 名張工場に託児所設置



INDEX

社長あいさつ	2
CSR方針	3
CSR経営	4～5
労働慣行	6～7
労働衛生	8～9
地球環境	10～11
環境保全	12～13
社会貢献	14～15
アンケート	挟み込み

◆はじめに

当社ではおよそ10年前から、あらゆるステークホルダーを対象としたCSR活動に取り組んでおり、2015年度からは国連グローバル・コンパクトに参加、その理念・活動を支持しています。大手都市銀行によるCSR格付にて最上位から2番目となる「AA(ダブルエー)」の評価を頂きました。たとえ大手の上場企業であっても同様の評価を得る事は難しく、我々の取り組みが社会や組織の成長過程でも正しい方向に進んでいると客観的な評価を得た事を大変嬉しく思います。

◆CSR活動の成果と今後の目標

従来から環境に対するCSR活動の一環として省エネの推進に注力していますが、この活動により東日本大震災後の電力難や価格高騰の際にはコストの上昇を25%程度に抑えることができました。

また、CSRの向上を目指すうえで、社外だけでなく社内へ向けた取組も重要と捉えており、本社において間断なき職場環境の改善なども行う一方、ノンコア業務の一括集中と外注化を実現させ、社員の中核業務への集中を進めています。労働時間の削減については、スウェーデンの年間労働時間1500時間以内という状況に学び、当社でも1900時間を割りこむように残業の撲滅を推進していますが、達成により得られた余剰時間を自身の学習や研鑽に導く事で、より充実した人生設計の一助になればと願っています。

以上のようなCSR活動は、個々を見れば地味なものであり、画期的に職場が変わるというものではありませんが、それでもこの10年を振り返れば、大きな変化を実感できるでしょう。

◆おわりに

2014年度は、M&Aを通じて、新たな仲間がNKCグループの一員として加わりました。これらの企業には、それぞれに築いてきた文化風土がありますが、新たな仲間から学ぶべきは学び、当社が先行するところはしっかりと共有し浸透させて、グループ全体での企業価値向上を図っています。

当社は中期計画として売上1000億円を目指しており、2015年3月期の決算ではおよそ800億円の売上を計上できるまでになりました。念願であった1000億円企業としてのビジョンが現実味を帯びてきた今、現状に甘んじることなく、さらなるグローバル化によって事業の拡大を進めていきたいと思えます。

このように会社が継続的に発展し社会への更なる貢献を実現するためには、会社と社員が一致協力する事が重要です。当社は、社員が社員であることに誇りを持って意欲的に仕事に取組み、それぞれのフィールドで活躍出来るような組織づくりを目指してまいります。



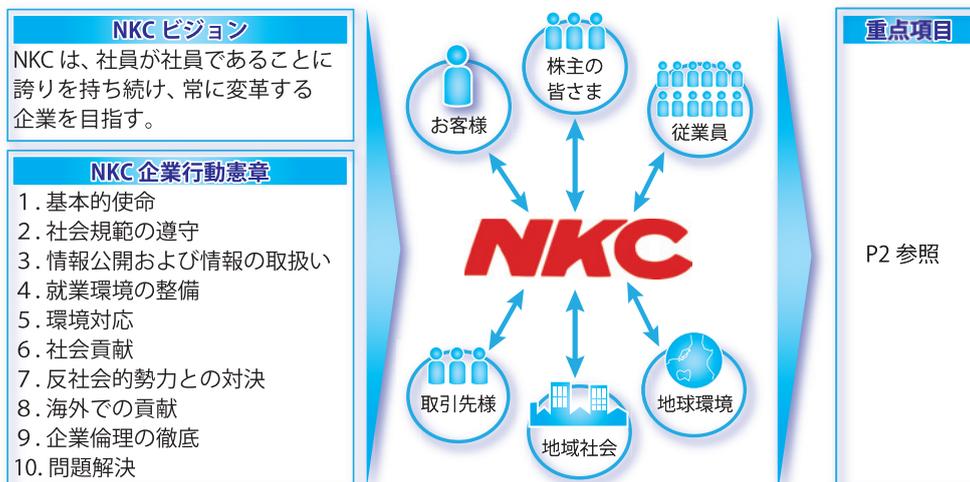
取締役社長 中西竜雄

<<NKCのCSR方針>>

CSRとは、企業があらゆるステークホルダー(=利害関係者：株主、社員、取引先など…下図参照)に対して責任を持ち誠実な事業活動を行う事によって社会全体で持続・発展していこうとする考え方を指します。

当社では次のようなCSR方針に基づき活動を行っています。

NKCのCSR活動は、「NKCビジョン」および「NKC企業行動憲章」を基本的な考え方とし、当社に関わりのある全てのステークホルダーの期待に応えていく事を使命とします。



あらゆるステークホルダーの期待に応えるため、NKCでは次のCSR活動について毎年目標を掲げ実施しています

重点分野	2014年度		自己評価	関連頁	2015年度	
	目標	実績			目標	
CSR経営	内部統制	内部監査の実施による業務効率の向上および法令遵守体制の整備	関連会社の支払業務に対する内部監査実施	△	3	・内部監査の実施による業務効率の向上および法令遵守体制の整備 (営業秘密管理、下請法) ・社内制度の整備による業務の適正確保
	コンプライアンス	業務に関連する法令規制の周知・啓発	・新入社員対象研修の実施 ・業務関連法令の担当者教育の実施 (安全保障貿易、下請法)	○	3	業務に関連する法令規制の周知・啓発
	リスク管理	自然災害BCP(防災計画)の国内拠点展開および海外拠点への展開着手	・国内拠点(出張所・グループ会社)への展開 ・海外拠点(フィリピン2拠点)への展開着手 ・防災力向上へ向けた継続的な活動の実施 (備蓄品追加購入、付属資料の内部監査、啓発記事発行)	○	4	・国内拠点でのBCP定着へ向けた活動の実施 ・グループ会社へのBCP展開継続 ・海外拠点へのBCP展開の継続
		情報セキュリティの向上およびOA環境の維持・改善	USBの管理方針策定	○	4	情報セキュリティの向上およびOA環境の維持・改善
労働慣行	人材活用	多様な働き方に対応する雇用形態・処遇の整備	・朝方勤務の推奨 ・ダイバーシティの推進(「女性活躍リーディングカンパニー」認証、「男女いきいき元気宣言事業者」登録)	△	5	多様な働き方に対応する雇用形態・処遇・環境等の整備
	人材育成	階層別または選抜式による社内研修会の企画・実施	・新入社員入社時フィリピン語学研修実施 ・フォローアップ研修実施(入社2年次・5年次社員) ・目標管理制度の拡大 ・新任管理・監督者研修の開催	○	6	階層別または選抜式による社内研修会の企画・実施
安全衛生	安全衛生管理	・労働安全衛生マネジメントシステムの推進 ・NKC安全衛生基準書の構築	・総合安全衛生環境管理委員会の開催 ・海外安全衛生環境管理委員会の開催 ・安全基準書の活用	○	7	・労働安全衛生マネジメントシステムの推進 ・NKC安全衛生基準書の構築、活用
	災害の防止	不安全整備の撲滅、不安全行動の撲滅	・安全衛生教育の充実(NKC重点7作業) ・無災害表彰(中西化工、滋賀工場) ・KY・ヒヤリハット抽出活動(表彰：三重工場) ・内部安全衛生監査	○	7	不安全設備の撲滅、不安全行動の撲滅
	法令遵守	内部監査による法令遵守状況の確認	安全衛生法令遵守一覧表の活用による法令遵守状況の確認、法令の改正等の情報収集	○	7	内部監査による法令遵守状況の確認
	防火管理	・消防点検の実施 ・防火パトロールの実施 ・防災訓練の実施	・防火パトロールの実施(電気器具、配線の使用状況等確認) ・消防訓練の実施(通報・消火・避難)	○	8	・消防点検の実施 ・防火パトロールの実施 ・防災訓練の実施
	交通安全	・安全運転講習会の開催 ・各種啓蒙活動の推進	・啓蒙活動(交通マナー) ・チャレンジコンテストへの参加(大阪府主催)	○	8	・安全運転講習会の開催 ・各種啓蒙活動の推進
	健康管理	・定期・特殊健康診断の推進 ・ココロの健康診断の推進 ・環境衛生パトロールの推進 ・生活習慣病フォロー面談の推進	・健康管理(定期健診、個別面談の実施等) ・メンタルヘルス(研修等による啓蒙) ・環境衛生活動(職場環境の向上)	○	8	・定期・特殊健康診断の推進 ・ココロの健康診断の推進 ・環境衛生パトロールの推進 ・生活習慣病フォロー面談の推進
	快適職場づくり	・職場環境の改善 ・作業方法の改善	・疲労、ストレスの少ない環境づくり(休憩施設の増設、階段手すりの改善等)	○	8	・職場環境の改善 ・作業方法の改善
環境保全	環境管理	・ISO14001更新監査の受諾 ・内部監査の実施 ・改善の為の提案	・環境監査(ISO14001更新監査、内部監査) ・環境大賞表彰(名張工場) ・有資格者の管理(データベースによる一元化)	○	9	・ISO14001定期監査の受審 ・内部監査の実施 ・改善の為の提案
	法令遵守	・環境法令遵守の評価 ・予防処置の実施	・騒音・振動規制法の遵守 ・下水道法の遵守 ・産業廃棄物処理業者の現地確認 ・優良産業廃棄物処理業者認定制度	○	10	・環境法令遵守の評価 ・予防処置の実施
	環境教育	・一般環境教育訓練の実施 ・特定環境業務教育訓練の実施 ・有資格者教育訓練の実施	一般環境教育、専門環境教育の実施	○	11	・一般環境教育訓練の実施 ・特定環境業務教育訓練の実施 ・有資格者教育訓練の実施
	環境負荷削減	・CO2排出量の削減 ・廃棄物の削減	・地球温暖化の防止(LED照明の活用等) ・廃棄物の削減(金属屑削減等) ・【特集】カーボンオフセットへの取り組み	○	11 12	・CO2排出量の削減 ・廃棄物の削減
	環境保全	・Fun to share キャンペーンに参加 ・食品リサイクルグループの実現	・Fun to share キャンペーンに参加 ・食品リサイクルグループの実現	○	12	・Fun to share キャンペーンに参加
社会貢献	地域参画	・自治体、その他団体が実施する社会貢献活動の支援 ・高齢者・障害者へ向けた社会福祉の増進	・地域振興(寄付、役務提供) ・社会貢献団体の活動支援(献血、寄付) ・地域美化の取り組み(地域清掃) ・雇用の創出(高齢者、障害者、受刑者) ・社会福祉増進(杖の寄付)	○	13	・自治体、その他団体が実施する社会貢献、活動の支援 ・高齢者・障害者へ向けた社会福祉の増進
	学術振興	・インターンシップの継続的な実施とプログラムの充実 ・寄付活動による学生生活支援	・NPO法人主催環境学習イベントへの協力参加 ・インターンシップ、工場見学受入 奨学財団の運営	○	14	・インターンシップの継続的な実施とプログラムの充実 ・寄付活動による学生生活支援
	災害支援	国内外の災害に対し、事前の防災力強化および有事の協力活動を実施	・地域の防災力強化 ・被災地支援	◎	14	国内外の災害に対し、事前の防災力強化および有事の協力活動を実施
	-	-	-	-	-	【2015年度新規追加】海外拠点における社会貢献活動の取りまとめ開始

◎：目標へ向けて大きな成果を得た／○：目標通りの成果を得た／△：目標の達成へ向けて更に努力が必要／×：実施できなかった

内部統制

●内部監査の実施

当社では、内部監査の手法として業務監査を重視しており、各部門における業務活動および組織体制を対象に監査を実施しています。特に近年は下請法の規制強化の流れを受けて、支払業務の適正化を進めており、本年度は関連会社を対象とした支払業務の実施フローおよび関連法令の遵守状況の確認・是正を実施しました。

2014年度内部監査

< 監査対象 >
関連会社 1 社の支払業務

< 監査結果 >
下記の事項を指摘し、改善を確認。
・業務フローの変更（円滑な取引実施のため）
・業務マニュアルの修正（業務の属人化防止のため）

内部監査計画

これまでの実施状況および今後の計画は次の通り。

< ~ 2013 年度 > < 2014 年度 > < 2015 年度 ~ >



コンプライアンス

●新入社員研修の開催

毎年恒例となっている新入社員対象の入社時研修について、本年度は高卒・大卒合わせて 32 名に対し実施しました。この研修では、当社の諸制度の周知はもちろん、社会人として業務に携わるうえでの法令に基づく注意事項や、業務上最低限必要となる知識の教育を 5 日間かけて実施しています。新入社員はこの入社時研修に続いて、海外での語学研修や国内工場での業務研修を経て基本知識を学んだ後、各部門へ配属されます。

プログラム

- ・社内規定類の説明
- ・安全・環境教育
- ・CSR 研修
- ・英語研修
- ・メンタルヘルス研修 など



英語の研修風景(本社)

●業務関連法令の社内教育推進

業務の遂行に際して遵守すべき法令は数多くありますが、特に下請取引および安全保障貿易管理については、適正な実施のために業務担当者への継続的な教育が必要と考え、社外講習会への参加を進めています。その結果、各業務担当者から自発的に遵守しようとする問い合わせが増加したほか、内部監査時にも指摘内容に対する理解度に変化が見られるようになりました。しかしながら、日本国内だけでも多数の事業所を持ちグローバルに事業を展開する当社にとっては、単に法令を遵守するだけでなく、高い倫理観に従って業務に携わる事が重要となります。今後は社内での講習会開催を通して意識の向上に努めていきます。

社外セミナー参加実績

- < 下請取引 >
・2012年・・・13人
・2013年・・・12人
・2014年・・・4人
< 安全保障貿易管理 >
・2013年・・・9人
・2014年・・・8人

2015年以降は、社内での教育を強化、定期的に意識の浸透状況を見極めながら取り進める

リスク管理

【特集】自然災害 BCP の展開



BCP 啓発キャラクター「ハラダくん」

【「BCP」って何？】

「BCP」とは「Business Continuity Plan」の略で「事業継続計画」と訳されます。自然災害や疫病、重大事故など、会社が操業停止になりかねないリスクを予め想定しておき、万が一発生しても事業を速やかに復旧できるようにしておく計画の事をいいます。当社では、自然災害(主に地震)を想定した BCP を策定しています。

●国内拠点へのBCP展開

国内の本社および工場など、主要な営業・生産拠点については 2013 年度中に展開完了しています。続く 2014 年度は、国内の出張所 2 拠点への展開を実施しました。これにて国内におけるほぼ全ての拠点について BCP の策定が完了したことになります。

また、出張所への展開と並行してグループ会社 1 社についても BCP を策定しています。

●海外拠点へのBCP展開着手

これまで国内拠点から順次展開を進めてきましたが、2014 年度中に完了の見込みが立ったことから、海外拠点への展開に着手しました。海外においては、会社事業を脅かすようなリスクは国ごとに異なります。そのため、自然災害を念頭に置きながらも、各国の状況を理解したうえで慎重に展開を進めるべく、予測されるリスクの検討から始めています。

<～ 2012 年度> <2013 年度> <2014 年度> <2014 年度> <2015 年度～>



BCP策定が完了したところから具体的なBCP活動を展開していく。※活動内容は次項参照

●防災力向上へ向けた継続的な活動の企画・実施(国内)

策定した BCP の有効性を高めるため、2013 年度から様々な活動に取り組んでいます。2014 年度は、本社および国内 5 工場にて避難訓練など従業員への周知啓発を意識した諸活動を実施しました。有事において「人命確保」と「事業継続」を最大限実施出来るよう、平常時の準備活動を今後も継続して進めていきます。

主な活動内容

- ・避難訓練の実施
- ・備蓄品の追加購入
- ・内部監査の実施
- ・啓発記事の発行



防火訓練(本社)



備蓄品の購入



啓発記事の発行

●情報セキュリティの向上とOA環境の維持・改善

情報漏えい問題に関しては、従来から様々な方面で対策を続けてきましたが、2014 年度は、USB メモリ(フラッシュドライブ)の使用制限を実施しました。会社指定の USB メモリを支給し、個人で持ち込んだ USB メモリについては、社用 PC からのデータ書込みが出来ないように制限し、その利用規定を従業員へ周知しました。情報漏えいへの取り組みは今後も継続して推進していきます。

人材活用

●朝方勤務の推奨

ワークライフバランス推進施策の一環として、朝方勤務を奨励しています。朝 5:00 から 7:00 の勤務に対して早朝割増手当を支給するほか、早朝出勤によって自宅で朝食をとれない従業員のために、本社員食堂にて朝食の提供を開始しました。

本取組は試験的な導入でしたが、朝方勤務を取り入れている従業員からの好評を得て今後も継続して実施していく事となりました。

また、朝食時に発生する生ごみ(果物の皮など)については、当社 EPD 室の商材でもある生ごみ処理機を使用してバイオ肥料に変えており、環境へも配慮しています。



朝食メニューの一例

●ダイバーシティの推進

女性活躍推進プロジェクトを通じて取り組んできたダイバーシティの推進が評価され、この度、2つの認証を受けました。引き続き、社員の多様な価値観を尊重し一人ひとりの能力・やる気を最大限に引き出す職場づくりを進めます。

2014年度取得認証

- ・大阪市「女性活躍リーディングカンパニー」認証取得
- ・大阪府「男女いきいき・元気宣言 事業者」登録

<認証マーク、認証書>



「男女いきいき元気宣言」マーク 「女性活躍リーディングカンパニー」マーク 「女性活躍リーディングカンパニー」認証書

認証対象となった取組

- ・女性活躍推進プロジェクトの立ち上げ
2013年度から、「教育」「制度」「設備」の各方面から女性の就業環境向上に対する施策の検討実施を進めており、2014年度は、育児休業規定の見直しやトイレ施設の改装などの活動を実施しました。また、2015年度以降には、一部の工場で託児所を新設したり教育体系の整備を検討したりするなどの計画を立てています。
- ・ワークライフバランスの支援
女性の活躍推進に限らず、残業の削減や有給取得の促進に継続して取り組んでいます。また、この活動によって総労働時間が削減されることで、男性の育児や家事参加の推進にもつながると考えています。

多様な人材の活用を推進し、従業員それぞれが個性を發揮し活躍できる環境作りに取り組みます

人材育成

●新入社員対象フィリピン語学研修の実施

英語の習得には継続的な学習が重要であることから、そのきっかけとなる事を目的として、新入社員に対し入社直後からの英語研修を実施しています。

2014年度は、本社内での英語研修に加え、フィリピン国での1か月間の研修も実施しました。



研修期間中にはフィリピン工場を見学

●フォローアップ研修の実施

<入社2年次研修>

業務の基本的な進め方や業務上の連携の取り方などを再認識する事を目的として、入社2年目の若手社員を対象としたフォローアップ研修を毎年実施しています。

この研修では、同期の社員同士がグループを作り、共同で課題の解決に取り組むため、実際の業務においても周囲に目を向けて連携する意識を持つ事を大事にする精神を養っています。

<入社5年次研修>

また、入社5年目の社員には、「360度評価」(上司や同僚など仕事上の関係者から自分を評価してもらう手法)を用いた研修を実施しました。

この研修では、各自が周囲の評価を知ることによって自分の強みと弱みを再認識し、職場のリーダーとしての在り方を学んでいます。

●目標管理制度の拡大

これまで管理・監督者層を対象に実施してきた目標管理制度を、仕事の優先順位や重要性についてより深く上司と共通認識を持つことを目的として、2015年度から主任クラスの社員にも拡大することを決定しました。

これにより、2014年度は、制度導入の前に「導入の目的」「制度内容」「目標設定の方法」などの説明会を2回に分けて各事業所で実施しました。

●新任管理・監督者研修の開催

2014年度に新たに管理・監督者層となった社員を対象に、目標管理に関する研修を実施しました。

適正な目標の設定と結果の管理を実施できるよう、「管理・監督者の役割」「人事考課について」「目標管理制度について」「目標設定方法」「自己シートの作成」などの項目について説明したうえで参加者に実践してもらいました。

安全衛生管理

●総合安全衛生環境管理委員会

国内6事業所が全て参加する、総合安全衛生環境管理委員会と安全衛生環境会議を各々年4回開催しています。総合安全衛生環境管理委員会は各事業所が持ち回りで開催し、職場巡視も合わせて行っています。活動状況の把握や情報交換を行なうとともに、各事業所の好事例などを他の事業所の者が直接見ることで、安全衛生水準の向上を図っています。

●海外安全衛生環境管理委員会

海外7事業所については、年6回のTV会議を通じて、活動状況の把握や情報交換を行い、安全衛生水準の向上に役立てています。また、本社の安全衛生スタッフが隔年で各事業所を訪問して実地確認を行っています。

●安全基準書の活用

労働安全衛生関連法令等を遵守した上で、グループとして統一的であり、かつ各事業所の現場に即した内容のNKCとして守るべき安全衛生基準書を作成し、安全衛生活動に活用しています。

災害の防止

●安全衛生教育の充実

特に危険度の高い作業を重点7作業と定めています。法令で定められている教育に加えて、実作業を行う労働者に対し、現場作業に則した特別な安全教育を年1回以上実施することを義務付け、安全意識と技能の向上に取り組んでいます。また、教育の履歴はデータベースで管理され、教育未受講者は、資格を持っていても作業を行えない仕組みになっています。

NKC重点7作業

- ・フォークリフト運転作業
- ・クレーン運転作業
- ・玉掛け作業
- ・プレス作業(金型の取付け、取外し、調整を含む)
- ・研削砥石の取替え作業(試運転を含む)
- ・溶接作業(ガス溶接、アーク溶接)
- ・産業用ロボットの操作作業(教示、調整を含む)



- ①フォークリフト作業安全教育(滋賀工場)
- ②研削砥石交換作業安全教育(名張工場)
- ③溶接作業安全教育(三重工場)
- ④クレーン・玉掛け作業安全教育(中西化工)
- ⑤プレス作業安全教育(大阪工場)
- ⑥産業用ロボット安全教育(天満地区)

●無災害表彰

各事業所単位で、不休災害以上の災害件数を年度ごとに集計しており、無災害達成の事業所に対しては、表彰と対象事業所の従業員全員に記念品の贈呈が行われます。2014年度は、中西化工と滋賀工場が表彰を受けました。

●KY・ヒヤリハット抽出活動

安全衛生水準向上の一環で、KY(危険予知)・ヒヤリハット抽出活動を推進しています。作業者しか気づかないKYに重点を置き、各事業所単位で採点、最優秀の事業所には、表彰と対象事業所の従業員全員に記念品の贈呈が行われます。2014年度は、三重工場が表彰を受けました。

●内部安全衛生監査

各事業所では、職場の巡視を年間活動計画に定めて定期的なパトロールを実施し、不安全行動や状態を抽出し改善を行っています。また、本社スタッフによる内部監査を年1回実施、統一的かつ現場に則した安全衛生水準の向上を図っています。

法令遵守

各事業所では、安全法令遵守評価一覧表を作成し、法令等の遵守確認をしており、内部監査でもチェックしています。法令改正等の情報収集は、本社スタッフが定期的に行い、総合安全衛生委員会等を通じて情報の共有を図っています。

遵守対象となる安全法令等

法律	条例
労働安全衛生法/労働基準法/労働契約法/健康増進法/消防法/毒劇物取締法/電気事業法/高圧ガス保安法、等	大阪市火災予防条例/枚方寝屋川消防組合火災予防条例/名張市火災予防条例、等

従業員が安心して働ける職場環境をつくるために、事故・災害ゼロへ向けた活動を推進します

防災管理

●防火パトロール

火災の原因となり得る危険物の管理状況や、電気器具・配線の使用状況などの確認を年間活動計画に定めて定期的なパトロールを実施しています。また、喫煙場所の定期巡視や消防設備の法令点検と整備を確実に実施し、火災発生の予防に努めています。

●消防訓練

各事業所では、消防計画を元に通報・消火・避難に関するマニュアルを作成し、定期的に消防訓練を実施しています。名張工場では従業員寮での消防訓練も消防署員立会の元毎年実施しており、また、屋内消火栓操法競技大会では毎年優秀な成績を収めています。



放水訓練
(天満地区)



消火器訓練
(大阪工場)

交通安全

●啓蒙活動

各事業所では、管轄する警察署の協力の下に定期的に交通安全講習会を開催し、また立哨等を行って交通安全意識と交通マナー向上に努めています。自転車通勤者に対しては、保険加入を義務付け安全意識高揚を図っています。

●チャレンジコンテストへの参加

本社では、大阪府警等が主催する大阪府無事故・無違反チャレンジコンテストに毎年参加し、交通安全意識高揚を図っています。大阪工場では、秋の交通安全運動で優良運転者表彰を実施、2014年度は9名が受賞しました。

健康管理

●健康管理

法令で定める定期健康診断、特殊健康診断等を実施するとともに、産業医と連携してスタッフによる個別面談や健診結果のフォローアップを実施しています。また、季節的な健康管理対策として、夏場の熱中症予防や冬場のインフルエンザ対策などの啓蒙活動を実施しています。

●メンタルヘルス

精神系疾患の発症を予防するため、メンタルヘルス研修など各種啓蒙活動を実施しています。また、EAPを用いたココロの健康診断を全従業員に対して毎年実施し、産業衛生スタッフによる個別相談も随時行っており、従業員の健康増進を図っています。

●環境衛生活動

健康障害の一因となる、騒音・振動や照度などの環境測定を定期的に行い、職場環境の改善に努めています。

快適環境づくり

従業員が仕事場での疲労やストレスを感じることを少なく、快適な職場づくりを目指しています。『作業環境管理』『作業方法改善』『労働者の心身の疲労回復のための施設や設備の設置及び整備』『その他の施設や設備の維持管理』の4つの視点から、問題点を抽出し、対策を実施しています。

2014年度快適職場づくりの主な活動

- ・ 鉄扉荷重を改善し、従業員の負荷を軽減
- ・ ドアノブを改善、開け閉めの容易化
- ・ 休憩施設の増設、改修
- ・ 給水設備の改善、適正配置
- ・ 掲示板の更新
- ・ 床面、舗装面の補修及び再塗装
- ・ 階段(手すり)の改善、改修



休憩所の改善
(名張工場)



ドアノブの改善
(滋賀)



床面の改善
(大阪工場)

環境管理

当社では、「次世代へ残そう クリーンな地球」を全社共通の環境標語として掲げ、地球全体を視野に入れた環境保全活動を実施すべく環境方針を定めて環境マネジメントシステム（環境方針実現のための社内体制等仕組み作り）を構築しています。

NKC環境方針（抜粋）

<理念>

事業活動全般に亘り、製品及びサービスが及ぼす内外への環境負荷を低減し、地球環境の保全に取り組む。

<指針>

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| (1) 環境マネジメントシステムの実行・維持・改善 | (4) 環境負荷の少ない生産システム作りへの取り組み |
| (2) 法令遵守による環境汚染の予防 | (5) 国・地方公共団体等による環境保全活動への協力 |
| (3) 工場人員への環境教育訓練により環境方針を周知 | |

<従業員各個人の努力義務>

- | | |
|---------------------------------|------------------------|
| 1. 二酸化炭素の削減へ向けて | 2. 廃棄物の埋め立量削減へ向けて |
| (1) 使わない場所の照明を消す | 廃棄物を分別表に従って分別する |
| (2) 昼休みには消灯する | ★標語：「分ければ資源 混ぜればただのゴミ」 |
| (3) パソコンを30分以上使わない時は電源を切る | |
| (4) 冷房温度は28℃以上、暖房温度は20℃以下を目安にする | |

●環境監査 ～ISO14001 内部監査、更新監査～

当社では、構築した環境マネジメントシステムの運用状況を確認するため、ISO14001 に基づく本社の担当部門による内部監査、外部認証機関による更新監査を実施しました。

2014年度の監査結果

拠点	ISO14001	確認方法	結果
大阪工場、三重工場、名張工場	2006年に取得	DNV (第三者認証機関) による更新監査	不適合・観察事項は0件
天満製鉄、EPD室	2009年に取得		
本社、治工具工場、滋賀工場、中西化工	未取得	担当部門の内部監査	軽微な指摘のみ

●有資格者の管理

公害防止管理（騒音・振動・水質・大気）、エネルギー管理、特別管理産業廃棄物管理などの環境関連有資格者の拡充をはかるとともに、データベースにて一元管理しました。

当社の事業活動全般にわたって環境負荷低減を進め、地球環境の保全に取り組みます

法令遵守

●騒音・振動規制法の遵守

法令規制の対象となる事業所において騒音・振動を測定した結果、全事業所において、定められた基準値を満足する事が出来ました。

各拠点が遵守すべき法令の基準値

拠点	地域	騒音 (dB)			振動 (dB)	
		昼間	朝夕	夜間	昼間	夜間
本社	準工業地域	65	60	55	65	60
大阪工場	準工業地域	65	60	55	65	60
名張工場	指定なし	60	55	50	65	60
三重工場	準工業地域	65	60	55	65	60
滋賀工場	工業地域	70	65	60	70	65
中西化工	準工業地域 (工場)	65	60	55	65	60
	第一種住居地域 (部品倉庫)	55	50	45	60	55

●下水道法の遵守

法令規制の対象となる事業所から排出される排水の水質を測定した結果、全事業所において、定められた基準値を満足する事が出来ました。なお名張工場・滋賀工場・中西化工の3工場は同法令の対象外となります。

各拠点が遵守すべき法令の基準値

拠点	基準値						
	水素イオン濃度	生物化学的酸素要求量 (mg/L)	浮遊物質濃度 (mg/L)	溶解性鉄含有量 (mg/L)	ノルマルヘキサン (mg/L)	窒素含有量 (mg/L)	燐含有量 (mg/L)
本社	5~9	600	600	10	なし	なし	なし
大阪工場	5.7~8.7	300	300	なし	5 (鉱油), 30 (動植物油)	150	20
三重工場	5~9	120	600	10	5	なし	なし

●産業廃棄物処理業者の現地確認

産業廃棄物処理での最重要課題は、不法投棄に巻き込まれないことです。

全地区で契約をしている17社の産業廃棄物処理業者の現地へ行き、適正に処理されていることを確認しました。

●優良産業廃棄物処理業者認定制度

本制度は、通常の認可基準より厳しい基準をクリアした優良な産業廃棄物処理業者を都道府県・政令都市が審査し、認定する制度です。

現在本制度の適用業者との契約を推進しており、その数は26社中12社に至っています。

環境教育

2014年度も、これまでに続いて一般環境教育・専門環境教育を実施し、その記録をデータベースにて一元管理しました。また、廃油・硫酸・排水などについては、社内の関係者を集めて漏洩緊急対応テストを実施しました。

環境負荷削減

●地球温暖化の防止

2014年度も多数の省エネルギー活動を実施しましたが、生産量の増加によりCO2排出量が前年度比7.2%増となりました。

2014年度 活動状況

拠点	主な活動
本社	焼鈍炉排気ダンパーの自動調整化, 蛍光灯をLED照明に置換, 二重窓(内窓)の設置
大阪工場	高圧変圧器をアモルファス変圧器に置換, 蛍光灯・水銀灯をLED・無電極灯に置換
名張工場	油圧式射出成型機を電動式射出成型機に置換, ラジアル保持器の表面処理レス化(連続パイプレーション設備の廃止), 工場の外壁の断熱塗装, 蛍光灯・水銀灯をLED・無電極灯に置換
三重工場	電気・灯油エアコンをガスヒートポンプエアコンに置換, 高圧変圧器をアモルファス変圧器に置換, 蛍光灯・水銀灯をLED・無電極灯に置換
滋賀工場	蛍光灯・水銀灯をLED・無電極灯に置換, 回生エネルギーを使ったクレーンを活用
中西化工	緑のカーテン・簾を設置, 蛍光灯をLED照明に置換



二重窓の設置(本社)



緑のカーテン(中西化工)



高効率変圧器(三重工場)

●廃棄物の削減

例年に続き、2014年度も廃棄物再資源化率99.9%以上を維持することが出来ました。

2014年度 活動状況

拠点	主な活動
本社	工程改善により廃ゴム発生量を減少、出荷梱包材を木枠から段ボールに変更、廃棄物処理量の自動集計化
大阪工場	工程改善により金属屑発生量を減少、表面処理レス化による汚泥の削減
名張工場	保持器脱脂装置廃液の蒸留再生利用、表面処理レス化による汚泥の削減
三重工場	工程改善により廃ゴム発生量を減少、表面処理レス化による汚泥の削減
滋賀工場	出荷梱包方法見直しにより木屑発生量を減少
中西化工	樹脂材料のリサイクル率の向上、ダンボールの再利用

当社の事業活動全般に亘って環境負荷低減を進め、地球環境の保全に取り組みます

【特集】カーボンオフセットへの取り組み

当社と岩手県が「岩手県県有林 J-VER クレジット」売買契約を締結し、その記念として同県から記念盾が贈呈されました。

この「岩手県県有林 J-VER プロジェクト」は、間伐により増加した二酸化炭素の吸収量（クレジット）の一部を現金に換算し購入することで、企業努力では削減困難な排出量をオフセット（埋め合わせ）することが出来る仕組みです。この考え方は、環境省が創設した「オフセット・クレジット（J-VER）制度」に基づいており、地球温暖化の抑制と東日本大震災で甚大な被害を受けた被災地の復興支援を目的としています。

当社では、J-VER クレジットの購入により、コレック製品であるピックアップリフトと EPD 室で手がける生ごみ処理機の稼動（電力の使用）に伴う二酸化炭

素排出量の一部をオフセットしました。オフセットの総量は、ピックアップリフトが 34t-CO2、生ごみ処理機が 40t-CO2 となっています。



記念盾贈呈式

環境保全

●環境省「Fun to Share」活動への参加

全社にて、低炭素社会の実現へ向けて環境省が推進する「Fun to Share」の活動に参加しています。2014 年度も、クールビズ・ウォームビズ(冷房温度 28℃以上、暖房温度 20℃以下の実施)を実施し、二酸化炭素の排出量削減へ向けて取り組みました。

●食品リサイクルの実現

大量に発生する食品の売れ残りや食べ残し、あるいは製造過程で大量に発生する食品廃棄物を飼料・肥料用の原材料として再生し有効利用することは、循環型社会を築く上でとても重要な取組です。

本社では、食堂で発生した生ゴミを生ゴミ処理機にて肥料化し、その肥料を兵庫県の農家へ有価物として提供し、その肥料でできた米を購入して、食堂の食材として活用しています。

2014 年度には、食品リサイクルループを実現しました。



地域参画

●地域振興

当社の事業所周辺地域で開催される祭り等のイベントに対し金銭的・人的協力を提供する事で、地域の活性化に貢献しています。

2014年度活動結果(一部抜粋)

- <マンパワー(従業員参加)による貢献>
 - ・ACCJ 関西チャリティウォーク参加(働く女性の環境改善を訴えるイベント)
- <資金提供による貢献>
 - ・天神祭
 - ・天満音楽祭
 - ・御堂筋イルミネーション
 - ・寝屋川まつり
 - ・名張川納涼花火大会
 - ・下田泥リンピック
 - ・野邊野神社秋祭



天神祭の獅子舞

●社会貢献団体の活動支援

国内外で様々な貢献活動に取り組む社会貢献団体に対し、寄付金を提供する事で、当社単体では実施する事が難しい社会的な課題の解決に間接的に貢献しています。

2014年度活動結果(一部抜粋)

- <マンパワー(従業員参加)による貢献>
 - ・団体献血
- <資金提供による貢献>
 - ・ヒルトン大阪クリスマstreイン
 - ・ラジオチャリティミュージックソン
 - ・国境なき医師団
 - ・緑の募金



クリスマstreイン



ラジオチャリティ

●地域美化の取組

国内ほぼ全ての事業所にて、周辺地域の美化活動に取り組んでいます。誰もが気持ち良く道路を利用出来るようになる事はもちろん、地域住民との交流が生まれる事もあるため、重要なコミュニケーション手段として継続しています。各事業所がそれぞれに実施する美化活動には、独自のものから、自治体等のキャンペーンに登録し実施するものもあり、大小様々な規模で地域美化への取り組みを進めています。

2014年度活動結果

- <自主活動>
 - ・事業所周辺道路の清掃活動
- <自治体等のキャンペーンに賛同した活動>
 - ・大阪マラソンクリーンUP 作戦(大阪市)
 - ・地域が育む道路美化(大阪府寝屋川市)
 - ・びわ湖クリーンキャンペーン(滋賀県)
 - ・アドプトロード(大阪府)



天満製鉄清掃



滋賀工場清掃



びわ湖クリーンキャンペーン



名張工場清掃

●雇用の創出

地域の就労施設(高齢者、障害者、受刑者など)への仕事発注や、人材センターからの人材派遣などを通して、街に雇用を生み出し地域経済の活性化に貢献しています。

●社会福祉増進

当社グループ会社のノイエスが取り扱う福祉用品「ひよっこり杖」を地域の福祉センターへ提供し、障害者や高齢者の方々の歩行に役立てて頂いています。

地域社会の一員としてその役割を自覚し、企業としての特色を生かしながら社会へ貢献していきます

学術振興

●NPO法人主催環境学習イベントへの協力参加

環境製品を取扱う EPD 室が「沼島自然エネルギー体験ツアー」に協力参加しました。淡路島の南にある沼島は、再生可能エネルギーの 100% 自給を目指しており、このイベントは、兵庫県在住の親子に実証現場を体験・見学してもらう事でエネルギーについて考えるきっかけを作る事を目的に開催されました。EPD 室からは、取扱製品のモバイルバッテリーを使用してかき氷を提供し主催者・参加者の方々から大変ご好評頂きました。



EPD 室ブースの様子

●インターンシップ、工場見学受入

就職活動支援の一環として、本社および各工場にてインターンシップや工場見学の受け入れを実施しています。

●奨学財団の運営

当社を設立母体とする奨学財団にて、学生生徒への奨学金および研究機関への研究助成金の給付を実施しました。

< 奨学事業 >

総勢 45 名の学生生徒を奨学生として採用し、前年度からの継続奨学生を合わせて計 105 名に 37,639,000 円 / 年の奨学金を給付しました。

また、9 月には、2014 年度採用の大学・大学院奨学生を対象とした懇親会を開催し、当社社員による就職活動の相談会も実施しました。



社員相談会の様子



懇親パーティの様子

< 研究助成事業 >

産業科学に関する研究の助成を行う本事業については過去最高となる 7 件の応募を受領し、内 6 件に対し 6,000,000 円 (各 1,000,000 円) の助成を実施しました。採用各機関からは、年度半ばと終了時の 2 回に分けて研究報告を受領し、本財団の助成金が有意義に活用された事を確認しています。

災害支援

●地域の防災力強化

大阪市北区に対し簡易トイレなどの備蓄品約 250 万円分を寄付しました。これらの物資は今後、「津波避難ビル」(津波発生時に誰でも駆け込む事が出来る場所で、事前登録制)への登録事業者に対し津波避難者用備蓄品として配付される予定です。



北区長による表彰の様子

●被災地支援

2014 年 8 月に、台風等の影響で発生した豪雨によって洪水や土砂災害などの被害を受けた京都府福知山市および広島県広島市に対し、被災者への災害義援金を寄付しました。

【巻末特集】海外貢献活動ーフィリピンー

今後、CSR 報告書にて当社海外拠点での活動状況を「特集記事」として紹介していきます。
その第一弾として、今号ではフィリピン拠点でこれまでに実施した主な社会貢献活動をご紹介します。

●台風・地震による被災者への支援活動

フィリピンでは、日本と同様に地震や台風のリスクが高く、特に 2013 年はその両方の発生により多くの地域が甚大な被害を受けました。

そこで、当社フィリピン拠点では、災害による被災者を支援するために、募金活動マラソンや物資の提供など様々な活動を実施しました。



チャリティマラソンの参加者



集められた支援物資と共に

●小学校への寄付活動

運営していくための資金や物資が不足している小学校に対して、本や椅子などの学習用品の寄付や、食事の提供などの活動を定期的に行っています。



学習用の本を寄贈



みんなと一緒に昼ご飯

●植樹活動

環境保護の観点から、マングローブや森林への植樹活動を実施しています。



植樹を終えて



■編集方針

NKC では、当社の CSR 活動状況について、お取引先様や地域の方々をはじめとする利害関係者の皆様へ情報開示することを目的として CSR 報告書を作成しています。

今後の活動に反映するために、当社の活動内容に対してご意見等ありましたら、本報告書に同封のアンケートもしくはコーポレートサイト上からお問合せ下さい。

なお、本報告書はコーポレートサイトの「CSR・環境」ページからも閲覧・ダウンロード頂けます。

- ・対象期間：2014 年 4 月～2015 年 3 月まで
- ・対象範囲：中西金属工業本社、国内全事業所、海外一部事業所
- ・発行時期：2015 年 9 月 15 日
(次回、2016 年 6 月頃を予定)
- ・問合せ先：中西金属工業株式会社 本社
管理部門 CSR 室
〒530-8566
大阪市北区天満橋 3-3-5
TEL：06-6351-4832
FAX：06-6351-7822
URL：<http://www.nkc-j.co.jp/>

■会社概要

NKC 中西金属工業株式会社
Nakanishi Metal Works Co.,Ltd.

設立：1941 年（昭和 16 年）6 月 19 日

資本金：25 億 1250 万円

代表者：代表取締役社長 中西竜雄

従業員数：約 2,000 名

事業内容：ベアリングリテーナー、コンベア、
サッシ用車、各種金属プレス加工
品等の製造販売



本報告書は環境に配慮し作成しています

